

發行編輯人 川崎文治

本社下町番地（電話六三〇番）
印刷所 警署毎日印刷所

定價 一部金貳錢 廣五號十二休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
料一ヶ月卅錢 告一ヶ月一十錢 行一ヶ月一十錢 日刊一錢 祝日一錢 登行所 常警毎日新聞社 電話六三〇番

常警毎日新聞
外國の賣出商略
一記者

白土岩石材販賣
小泉岩材所
諸花岡石材所
御注文次第迅速配達仕候
平町月見町

喜多林之助

品質優良 適合各種 數量豐富

関内精米所

番〇六一出呼話電町橋長町十
マシタイ達配速早ズラハ拘ニ少多ハ文日御
スマ願シ試御ハ度一非是

磐城共濟病院

院長醫學博士 助川喜四郎
副院長醫學博士 藤井秀旭
醫學博士 竹内俊一
醫學博士 小池公介
醫學博士 近藤德造
醫學博士 河合健吉
耳鼻喉科醫學博士 松本松
醫學博士 澤口清治
藥劑士 吉本孝平
牙醫學博士 大瀧潤家

正確 體溫計 関内藥局
寒暖計 電話四〇番

刊夕日七廿月一

外國の賣出商略
一記者

理論も時に諸君にとつての薬であるが、それよりも手つ取り早い具體案はスグそのまゝで役に立つ中には、なんだこんなもの、と思はれる話もあらうけれど、その中にタツタ一つでも、これは素敵だ、と感ぜられるのが無いでもあるまい、萬一スグお役に立つ、新規な賣出方法が一つなり此中に發見されたら筆者の幸とするところ、

愈々天下に輝く舶來に勝る
和製のラヂオを以つて
郷土の新春を訪れて居ります

今や世界的マツタの最も新しい製品三球再震式無線電話受信機サイモホン〇型のメロデーが各都市は申迄もなく山間僻地からもモレ來る様になりました、皆様も高價なものよりも安價でよく開けるマツタのラヂオを御愛用の上楽しい笑聲を和して下さい

代價壹台は僅に金貳百圓也で附屬アンテナ共一式附きます

常警線平町四丁目十五番地
電話一八八番電器部
磐城工業商會
中村佐治助
電話一八八番電器部

うごん。そば
うなぎ。天井
親子井五もく

平町長橋町
まっや

マツモトヤ

平町四丁目 電話二一四番

百二十夕入.....八十五錢
七十夕入.....五十錢
四十夕入.....三十錢

實用を經濟を兼ねたる徳用袋入字治かほるは本場宇治茶の香り高く御茶漬用として好適です

コックは支那人 必らずお氣に召す
女給は朝鮮女

「純朝鮮料理を開業」
朝鮮料理を博しつゝある支那及び朝鮮の變つた料理を朝鮮美人の優しい手に依つて皆々様の前に提供します、是非一度御試食の程をお待ちして居ります

平町白銀町一〇（元北郷醫院跡）
支那朝鮮料理専門 日鮮館

既成服十圓賣出し 既成服十圓賣出しと題したが、これは既成服にのみ適用出来るといふ解ではない、呉服類でも家具類でも三十圓一五十圓位の品であればなんでも利用出来る賣出しであつて、アメリカのミンガンの一洋服店がやつて大成功をしたことがある商略である向ふでは割引賣出の時三十三、三分の一パーセント割引といふ面倒くささうな率をよく擇ぶ。これは云ふまでもなく値段の三分の一だけ割引をすることに於ける日本の三割引よりもモット餘計に引く譯だ。右に述べた一洋服屋さんもそれを

百年來の寒さ
ますます寒く なります
防寒具の御用意は?

オーバ 六、八〇〇ヨリ
トンビ 一、〇〇〇ヨリ
モチリ 五、〇〇〇ヨリ

ながや洋服店
平町（電話二〇三）

龍功散
「他ノ藥ニテ効能無キ御方ハ龍功散ヲ吞シテ卓絶スル登録 効能ヲ御試下サイ」

本舖 渡邊龍功堂
平町三丁目電話百八番

加藤營業所
平白銀町十五番地
振替口座仙臺六二四三番
電話三三三番二五五番

貸 仲間町商店向 十圓
同町勤人向 四圓、四圓
内郷村小島 勤人向 十圓
白銀町 勤人向 十圓
商店向 十圓

保 神戶火災 平代理店
東洋火災 平代理店
其保生命警東代理店
御用は電話三三三番へ

加藤營業所
平白銀町十五番地
振替口座仙臺六二四三番
電話三三三番二五五番

株式磐城越銀行
改稱第拾五回下半年期
（大正十四年）

決算報告
貸借對照表

資本金	八五〇,〇〇〇
諸積立金	五八五,〇〇〇
諸預り高	六五,四九四、七〇
爲替借	三、一〇,〇〇〇
未経過利	一五,〇七〇、八〇
第一種所得稅	三七〇、五〇〇
未拂割賦金	五五四、六〇〇
當期純益金	二五、三六六、一五〇
合計	一、六四、八三三、〇〇〇

負債之部

未拂込資	六〇四、五〇〇、〇〇〇
本金	八四九、六三三、四〇〇
諸貸出金	三、九三、八〇〇
附引及荷	三、二〇六、八〇〇
爲替貸	七、六六八、〇〇〇
國債及所	六九、九四、九四〇
預け金及	一、六三、〇〇〇
現金有高	一、六三、〇〇〇
合計	一、六四、八三三、〇〇〇

利益金勘定

當期純益金	二五、三六六、一五〇
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	二〇〇,〇〇〇
法定準備金	二〇〇,〇〇〇
特別積立金	二〇〇,〇〇〇
行員退職給與積立金	一、一五〇,〇〇〇
重役賞與金	六二、六二五
株主配當金	九、五七四、五〇〇
後期繰越金	一〇,〇〇〇,〇〇〇
大正十五年一月	

株式磐城越銀行
専務取締役 中野甲藏
頭取 西岡重好
全取 小野靜重
全監 蘭田嘉藏
全監 大谷喜吉
全相 鈴木盛一
全談 森本盛一

人氣映畫に對する 本社主催の大懸賞

去る一月八日より帝キネ直營活動常設聲座に於て多大の好評を博せる連續大活劇「ライオンマン」は今回内部を改築して新装を凝らせる同常設館に數日來三篇及び四篇が上映されて居るが畫面の中に奇々怪々たる一個の假面の人が現れて種々多様な活躍を試みる此突如として現れた假面の人は

果して何人か?
且つ善人か? 悪人か?

此解答を募つて當選者百名は夫々賞品を贈呈す、解答規定は左記の通り

(締切)二月十一日(宛名)平町長橋町三五番警毎日新聞社懸賞係(用紙)葉書(賞品)三重桐箆筒、鏡台、時計其他ユニバーシヤル及び有聲座贈品正解者多數の際には有聲座公開の席に於て抽籤を行へ入選者百人を決す但し選外と雖も洩れなくプロマイドを進呈農家の

大半は金詰り

舊年末を控へ

石城地方銀行には金がたぶつき農家は豊作と養蠶の大き當りにこれまた景氣がよいとうわさされて居るがそれはほんの一部大農のみで中流以下の農家殊に小作人階級に至つては一般財界の不況と炭界の不振に書入れの賃仕事が少ない野菜果實等の賣れ行きが悪く野菜果實の打撃は一層深く昨今舊年末をひかへ諸種の貸借決算それに麥の追肥に用ふる金肥の購入等良金の必要を感じて居るが豫想外の金つ

江名信用總會 石城郡江名町信用組合は中の作公會堂にて廿五日午前九時より總會を開き尾形郡産業主事の講演あつた由

鬼は外

縣社の豆まき 平町柳下元吉氏其他のキモ煎りにて年々盛んになる福和内會は本年も來月三日縣社子銀會神社前に於て豆まきを舉行する由であるが厄年に當る人の内から祝儀三圓を以つて年男を募り一



赤ん坊の心の育方

赤ん坊の時に氣を付けて教育する必要はないものゝやうですが、實際は學齡に達して始めて精神が發達する

冠り炭を碎き

朝鮮人慘死

石城郡内郷村大字宮字平太

のではありません、生れ落ちるから心の活動と發達が授けられてゐるのですから是に對する注意も、体育と等しく必要なのであります。先づ第一に赤ん坊の精神をよく氣をつけて注意する人には實に活潑な心の力が満ちてゐるのに氣がつくでせうそれは如何に強い心の力が

カスリの新傾向

春花の形大

春の衣裳の新柄は需要期が割合に短いのと冬から春への氣分の轉換を服飾によつて現さうとする慾求からごうしても新柄は若い婦人にあてはまるものが中心である結果、友禪とか小紋とかの

染色品 が大部分を占めてゐるがその間にあつてカスリは依然として織物の勢力を持つてゐる。春先の少しボカついて桃や櫻の咲くころに婦人の著物の柄にカスリは大變に似合ひ

のもので、スツキリした

氣持ち

を服飾から受けるに都合のよい柄である。大カスリは従來は割つけの線だけの模様であつたが最近は大カスリで花模様の調子を現したものがあつた小カスリを

澤山に

あつめてどころ々地アキを見せて小カスリの集合と地アキとで一つの模様を構成して見せ雲どりや横物にも見える變化が好まれてゐる、この現し方は昨年の夏物にもよつと見受けた

構圖だ

がこの春物のカスリ模様は殆どそれが好みの中心になつて現れて

協力一致して

顧客優遇の途を構す

來月二日から五日間に亘る

二丁目の大賣出し

不景氣の打開策としては此際一般が協力一致の奮闘に依つて解決する外はない、依つて五丁目は先般各商店が聯合して大賣出しを爲

非常な

好成绩を舉げ再び近く此舉に出する計畫がある所より本町通りの中堅勢力とも云ふべき二丁目の各商店も舊歲末を目前に

福引附

の聯合大賣出しを開始する事となつた

玉川講中建碑 石城郡玉川村大字住吉高萩平馬氏は羽黒山に參詣した村内の講中員を以つて記念碑を建てべく發起奔走中である

玉川火の用心

石城郡玉川村消防組にては火の用心を紙片に印刷し各戸に配布したと

遠藤教諭逝く

前平商業學校教諭遠藤保夫氏は病氣の爲め東京府下中野にて静養中の所廿五日午後一時遂に逝去し遺骨は未亡人の手に擁せられて本日午後七時半平驛に到着する筈の爲め平商業學校生徒及び田町青年分團員は全部驛頭に出迎を爲す由

平町人事

▲出生 △古銀治町一三 白土正藏氏三女エ子
△材木町九 杉山重次郎氏二男三四治
▲婚姻 △杉平二〇 土佐藤善藏(四〇) 同市川(一四六)
▲死亡 △胡摩澤一五二 清野キヨ(三〇)
△古銀治町三八 金成一郎(二二)

小名濱漁況

打瀬船好漁

石城郡小名濱町の漁況は打瀬船の漁獲は相當のものにて二日間の出漁に二百五十圓の収入あり漁夫も月廿二三圓には當ると

平窪徴兵注意

石城郡平窪村在郷軍人分會にては廿五日本年度の徴兵適齡者を役場に集め小泉會長から種々注意を與へた由

鬼の耳

一家七名一時に發狂撲り合ひ 平安北道義州郡錦志汎(四)方にては二十三日午前二時頃同人はじめ妻子全部七名が一時に發狂しなぐり合ひをはじめ中二

美人と迷ふ

女中奉公志願 當時東京市小石川區向山御